

日本教師学学会 第26回大会 概要

▼日時 2025年3月22日(土) 12:00 受付開始 13:00 開会～23日(日) 14:50 閉会

▼場所 会場校：聖心女子大学 住所：東京都渋谷区広尾4丁目3-1
アクセス <https://www.u-sacred-heart.ac.jp/about/access/>

▼主催 日本教師学学会

▼大会参加費 会員(一般)：3,000円 会員(学生)：1,500円
非会員(一般)：4,000円 非会員(学生)：2,000円

▼参加申込の方法および資料の配信

1 大会参加と懇親会について

- 参加申込と参加費のお支払いは、Peatixによる決済システムを使います。学会ホームページの「Peatix 大会参加申込フォーム」にアクセスし、3月14日(金)までに大会参加登録を行ってください。 <https://peatix.com/event/4279105/view>
なお、当日までPeatixからの登録は可能です。受付業務の効率化のために、事前の参加登録にご協力ください。
- 懇親会は【第1日(3月22日)】の16:20～18:00に、聖心女子大学のキャンパス内で実施を予定しています。会費は当日大会受付の際にお支払いいただきます。参加を希望される方は、学会Webサイトに申込方法等を掲載します。準備のため事前申込にご協力ください。皆様のご参加をお待ちしております。

2 領収書および参加証の発行について

- 領収書はPeatix上でダウンロード可能です。但書についても編集可能です。また、紙での領収書・参加証をご希望の場合は当日受付で発行いたします。

3 発表要旨集の配布について

- 発表要旨集はPDFでお配りします。大会参加費のお振込み確認後、3月中旬にダウンロード方法をPeatixでお知らせいたします。Peatixからのメール(noreply@peatix.com)を受信できる設定にしてください。
- 大会参加費のお振込みが確認できない場合には、資料に関するご案内はできません。予めご了承ください。

▼プログラム (プログラムは変更する場合があります。学会ホームページにてご確認ください。)

3月22日(土)【第1日】会場校企画・自由研究発表①

12:00～ 受付

13:00～14:30 会場校企画(講演)

13:00～14:30 講演	
テーマ	これからの教師の学びを支える組織の在り方
講師	齊藤 慎一(杉並区立四宮小学校 副校長)
座長	谷塚 光典(信州大学)
趣旨	講師の先生は、東京都内公立学校で「子どもの実態」「子どもとの対話」を重視した教育を追求してきた。そのような教育について自主的に実践研究を続けてきたことに加え、同志を募って研究会を立ち上げられた。2023年度からは管理職(副校長)として着任し、学校運営に挑戦している。このような経験をふまえ、①「子どもの実態」「子どもとの対話」を重視した授業づくり・学級経営、②それを支える実践研究と研究会運営、③それらを支える組織づくり・学校経営といった側面から、現状と課題についてお話しいただく。附属学校ではなく一般公立学校という環境の中での実践が、多くの参加者の参照枠となると期待している。講師の先生からの一方向伝達型の講演を越え、「参加者との対話」「参加者間の対話」が本シンポジウムで生まれることも目指している。

14:30～14:40 休憩

14:40～16:00 自由研究発表① ⇒【別紙】分科会プログラムをご覧ください。

16:20～18:00 懇親会

3月23日(日)【第2日】自由研究発表②・総会・企画委員会企画

9:30～ 受付開始

9:50～11:20 自由研究発表② ⇒【別紙】分科会プログラムをご覧ください。

11:20～11:35 休憩

11:35～12:00 総会

12:00～12:50 昼食・休憩

12:50～14:50 企画委員会企画 (シンポジウム)

12:50～14:50	シンポジウム
テーマ	実践研究をいかに行うか
話題提供者	杉浦 治之(前浜松日体中・高等学校) 三浦 友理子(聖路加国際大学) 改発 智也(早稲田大学)
総論	井上 典之(早稲田大学)
進行役	安酸 史子(日本赤十字北海道看護大学)
趣旨	前回大会(第25回)のシンポジウムでは、企画委員会と編集委員会による合同企画を開催し、これまでの学会誌や年次大会における投稿の現状と課題、新たな論文種別である「実践レポート」およびその査読の観点について共有しました。今後は、さらに実践研究を蓄積し、教師にとって意味のある知を交流していくことが求められます。そこで、第26回大会では、杉浦治之氏、三浦友理子氏、改発智也氏をお招きし、これまでのご研究を題材に、実践研究の意義や論文化の際の留意点について話題提供していただきます。また、井上典之氏には、実践研究に関する理論の全体像についてご講演いただき、その内容をもとに、教師学研究における実践研究のあり方について、話題提供者の先生方やフロアの皆さまと活発に議論できればと考えております。

14:50 年次大会終了

【ご注意】発表内容の撮影、録音、録画等について

参加者が発表内容を記録することで問題が発生する可能性がある場合は、大会スタッフより撮影、録音、録画しないよう指示する場合があります。ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。特に指示がない場合においても、参加者が撮影、録音、録画したものを日本国の著作権法が定める範囲以外で利用する場合は、発表者の許可を得てください。